

第 2 章 教育行政

第 1 節 教育委員会

1 教育委員会

職名	氏名	就任年月日	職業	備考
教育長	鈴木 淳一	平成 28 年 4 月 1 日		福島市
委員 教育長職務代理者 (29.12.24～)	高橋 金一	平成 27 年 12 月 27 日 (2 期目)	弁護士	郡山市
委員	浅川 なおみ	平成 27 年 4 月 1 日	ピアノ 教室 主宰	白河市
委員	蜂須賀 禮子	平成 28 年 10 月 19 日 (2 期目)	生花 販売	大熊町
委員	正木 好男	平成 29 年 12 月 24 日	会社 顧問	いわき市
委員	岩本 光正	平成 28 年 10 月 19 日	会社 取締役	会津若松市

2 審議事項

4 月定例会 (30. 4. 20)

- 審議事項
 - (1) 教職員の懲戒処分について
 - (2) 教職員の懲戒処分について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 平成 31 年度福島県公立学校教員採用予定者数について
- 報告事項
 - (1) 平成 30 年度福島県立高等学校入学者選抜の結果について
 - (2) 平成 30 年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜の結果について
 - (3) 訓告処分等について
 - (4) 訴訟判決について
- 協議事項
 - (1) 「県立高等学校改革基本計画 (2019 年度～2028 年度)」(案) について

5 月定例会 (30. 5. 18)

- 審議事項
 - (1) 福島県いじめ問題対策委員会委員の委嘱について
 - (2) 県立高等学校改革基本計画 (2019 年度～2028 年度) について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 教職員の懲戒処分について
 - (5) 教職員の懲戒処分について

- (6) 教職員の懲戒処分について
- (7) 教職員の懲戒処分について
- (8) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 平成 31 年度使用教科用図書の採択等に関する答申について
- (2) 訓告処分等について

6 月定例会 (30. 6. 15)

○ 審議事項

- (1) 平成 31 年度使用教科用図書調査研究資料について
- (2) 教育長臨時代理による処理の承認について
- (3) 工事請負契約の一部変更案について
- (4) 損害賠償の額の決定及び和解案について
- (5) 福島県社会教育委員の任命について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

7 月定例会 (30. 7. 20)

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

8 月定例会 (30. 8. 24)

○ 審議事項

- (1) 平成 29 年度福島県教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価結果について
- (2) 平成 31 年度使用県立中学校の教科用図書の採択について
- (3) 平成 31 年度使用県立特別支援学校小学部・中学部の教科用図書の採択について
- (4) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 平成 31 年度市町村公立義務教育諸学校における校長再任用の実施について
- (2) 訓告処分等について

9 月定例会 (30. 9. 13)

○ 審議事項

- (1) 平成 31 年度福島県立中学校入学者選抜について
- (2) 平成 31 年度福島県立高等学校入学者選抜について
- (3) 平成 31 年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜について
- (4) 教職員の懲戒処分について
- (5) 平成 30 年度教育・文化関係表彰について
- (6) 福島県立博物館運営協議会委員の任免について
- (7) 平成 30 年度福島県指定文化財の指定に係る諮問について

- (8) 平成31年度福島県公立学校実習助手採用予定者数及び平成31年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用予定者数について
- (9) 平成30年度9月補正予算案（教育委員会関係部分）について
- (10) 工事請負契約案について
- (11) 福島県立会津学鳳中学校の入学検定料に関する条例の一部を改正する条例案について
- (12) 福島県立会津学鳳中学校条例の一部を改正する条例案について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

10月定例会(30.10.19)

- 審議事項
 - (1) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
 - (2) 平成31年度福島県立学校生徒募集定員について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 教職員の懲戒処分について
 - (5) 平成30年度教育・文化関係表彰について
 - (6) 平成31年度人事異動方針及び各人事異動実施要項について
 - (7) 平成31年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

11月定例会(30.11.22)

- 審議事項
 - (1) 福島県教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則について
 - (2) 福島県立会津学鳳中学校の入学検定料の免除に関する規則の一部を改正する規則について
 - (3) 福島県立会津学鳳中学校学則の一部を改正する規則について
 - (4) 平成30年度12月補正予算案（教育委員会関係部分）について
 - (5) 公の施設の指定管理者の指定案について
 - (6) 公の施設の指定管理者の指定案について
 - (7) 公の施設の指定管理者の指定案について
 - (8) 工事請負契約の一部変更案について
 - (9) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (10) 平成30年度中学生・高校生の科学・技術研究論文野口英世賞の受賞者について
 - (11) 平成30年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文朝河貫一賞の受賞者について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について
 - (2) 訴訟判決について

12月定例会(30.12.21)

- 審議事項
 - (1) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について
 - (2) 教科用図書採択地区を設定した件の一部改正について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 福島県立美術館運営協議会委員の任命について
 - (5) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (6) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (7) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (8) 退職手当の支給制限について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

1月定例会(30.1.18)

- 審議事項
 - (1) 平成30年度教育・文化関係表彰について
 - (2) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (3) 平成31年度福島県公立学校実習助手採用候補者選考試験の合格者について
 - (4) 平成31年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用候補者選考試験の合格者について
 - (5) 教職員の懲戒処分について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について
 - (2) 平成31年度人事異動（教員系）について
- 協議事項
 - (1) 県立高等学校改革前期実施計画素案について

2月定例会(31.2.8)

- 審議事項
 - (1) 福島県自然の家条例の一部を改正する条例の福島県郡山自然の家に係る施行期日を定める規則について
 - (2) 福島県いわき海浜自然の家に係る福島県自然の家条例施行規則の一部を改正する規則について
 - (3) 教育職員の免許状に関する規則の一部を改正する規則について
 - (4) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について
 - (5) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
 - (6) 福島県立高等学校の通信教育に関する規則の一部を改正する規則について
 - (7) 県立高等学校改革前期実施計画について
 - (8) 平成31年度当初予算案（教育委員会関係部分）について
 - (9) 福島県立美術館条例の一部を改正する条例案について
 - (10) 福島県立博物館条例の一部を改正する条例案について

- (11) 福島県自然の家条例の一部を改正する条例案について
- (12) 工事請負契約の一部変更案について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について
- 協議事項
 - (1) 平成31年度人事異動（教員系）について

臨時会 (31. 2. 26)

- 審議事項
 - (1) 福島県地域学校活性化推進構想について
 - (2) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (3) 平成31年度教育庁職員（課室長以上・教育事務所長）及び教育機関の長（教員系）の人事について
 - (4) 平成31年度市町村公立学校長の人事について
 - (5) 平成31年度県立学校長の人事について
- 報告事項
 - (1) 平成31年度教育庁及び教育機関の主要職員（教員系）の人事について
 - (2) 平成31年度市町村公立学校副校長及び教頭の人事について
 - (3) 平成31年度県立学校副校長及び教頭の人事について

3月定例会 (31. 3. 22)

- 審議事項
 - (1) 教職員の懲戒処分について
 - (2) 教職員の懲戒処分について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 教職員の懲戒処分について
 - (5) 頑張る学校応援プランについて
 - (6) 第6次福島県総合教育計画平成31年度アクションプランについて
 - (7) 福島県教育委員会文書等管理規則の一部を改正する規則について
 - (8) 福島県自然の家組織規則の一部を改正する規則について
 - (9) 福島県教育庁組織規則の一部を改正する規則について
 - (10) 学校教育法施行細則の一部を改正する規則について
 - (11) 福島県指導不適切認定の手続等に関する規則の一部を改正する規則について
 - (12) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について
 - (13) 福島県立中学校学則の一部を改正する規則について
 - (14) 福島県教育センター組織規則の一部を改正する規則について
 - (15) 福島県指定文化財の指定について
 - (16) 福島県立博物館長の委嘱について
 - (17) 福島県立博物館運営協議会委員の任命について
 - (18) 福島県文化財保護審議会委員の委嘱について

- (19) 教科用図書選定審議会委員の任命について
- (20) 平成31年度教育庁職員（課室長以上・教育事務所長）及び教育機関の長の人事について
- (21) 平成31年度市町村公立学校長の人事について
- (22) 平成31年度県立学校長の人事について
- (23) 平成30年度教育・文化関係表彰について
- (24) 教育長臨時代理による処理の承認について
- (25) 退職手当の支給制限について
- 報告事項
 - (1) 教職員多忙化解消アクションプランについて
 - (2) 平成31年度教育庁及び教育機関の職員の人事について
 - (3) 平成31年度市町村公立学校教職員の人事について
 - (4) 平成31年度県立学校教職員の人事について
 - (5) 平成32年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について
 - (6) 訓告処分等について

第2節 教育庁組織

理事兼教育次長（業務）	大沼	博文
政策監	熊田	孝
県立高校改革監	岡崎	拓哉
教育庁参事（人事・企画）	永田	嗣昭

課室名	職名	課長等名
教育総務課	課長	高橋 洋平
	庁主幹兼副課長	工藤 宇裕
	庁企画主幹兼副課長	郡司 完
財務課	課長	大楯 一夫
	主幹兼副課長	佐藤 純二
施設財産室	室長	蓬田 慎一
	主幹	舟山 真吾
職員課	課長	奥寺 洋暁
	主幹兼副課長	中野 茂
	主幹	角田 禎雄
福利課	課長	長根 由里子
社会教育課	庁参事兼課長	菊池 篤志
	主幹兼副課長	遠藤 仁
	主幹	渋川 卓也
文化財課	課長	鈴木 俊明
	主幹兼副課長	鈴木 秀寿
義務教育課	庁参事兼課長	佐藤 秀美
	主幹兼副課長	浅倉 孝
	主幹	石幡 良子
	主幹	板橋 竜男
高校教育課	課長	小島 稔
	主幹兼副課長	永澤 英樹
	主幹	森下 陽一郎
	主幹	遠藤 利晴
県立高校改革室	室長	柳沼 英樹
特別支援教育課	課長	小檜山 宗浩
	主幹兼副課長	西村 則昌
	主幹	酒井 浩樹
健康教育課	課長	佐藤 浩哉
	主幹兼副課長	國分 亮子
	主幹	佐々木 理夫

教育事務所

教育事務所	所長・次長名	課長名
県北	所長 渡辺 惣吾	
	次長(総) 大竹 伸明	総務社会教育(兼) 大竹 伸明
	次長(業) 伏見 珠美	学校教育(兼) 伏見 珠美
県中	所長 福地 裕之	
	次長(総) 伊藤 利行	総務社会教育(兼) 伊藤 利行
	次長(業) 内田 恒一	学校教育(兼) 内田 恒一
県南	所長 阿部 央	
	次長(総) 馬目 常寿	総務社会教育(兼) 馬目 常寿
	次長(業) 小玉 昭男	学校教育(兼) 小玉 昭男
会津	所長 近藤 静雄	
	次長(総) 浦野 昭浩	総務社会教育(兼) 浦野 昭浩
	次長(業) 石本 浩一	学校教育(兼) 石本 浩一
南会津	所長 佐藤 則之	
	次長(総) 高橋 正敏	総務社会教育(兼) 高橋 正敏
	次長(業) 井上久仁夫	学校教育(兼) 井上久仁夫
相双	所長 佐藤 由弘	
	次長(総) 島 裕之	総務社会教育(兼) 島 裕之
	次長(業) 塙 広治	学校教育(兼) 塙 広治
いわき	所長 林 和樹	
	次長(総) 白井 一章	総務社会教育(兼) 白井 一章
	次長(業) 塚本 英樹	学校教育(兼) 塚本 英樹

所管教育機関等

教育機関名	所館長名	次長等名
福島県教育センター	加藤 知道	次長 菅野 昭人 総務管理部長(兼) 菅野 昭人 研究・研修部長 味原 正美
		主幹兼事務長 立花 敏孝 企画事業部長 西牧 辰典
福島県特別支援教育センター	鈴木 基之	
福島県立図書館	杉浦 孝幸	副館長 齋藤 圭一
福島県立美術館	早川 博明	副館長 鶴見 宏幸
福島県立博物館	赤坂 憲雄	副館長 星 貴文
福島県郡山自然の家	平久井 淳	主幹兼次長 森谷 吉博
福島県会津自然の家	渡部 光毅	次長 宍戸 佐壽

第3節 企画調整

1 教職員現職教育計画の策定

(1) 福島県公立学校教職員現職教育計画

教職員現職教育担当者会議を開催し、平成31年度の教職員研修計画及び研究学校(地区)指定計画について、策定に関する協議や関係課・所間の調整を行い、「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定した。

(2) 策定計画

回	開催期日	会議の場所	議事及び協議の概要
第1回	元.6.6	西庁舎12階 仮設会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度教職員現職教育計画作成日程について ○平成31年度教職員現職教育計画策定に向けた全体及び各課・所の検討事項について ○平成31年度教職員現職教育計画作成方針を踏まえ、関係課・所において、予算化等を見通した研修の改善及び新設、変更、廃止の案の検討について
第2回	元.9.3	西庁舎12階 仮設会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回会議の確認事項について ○各課・所における予算化等を見通した具体的計画案について ○平成31年度教職員現職教育計画修正案作成の関係課・所への依頼について

(3) 構成員

教育総務課

企画主幹兼副課長、主任主査

社会教育課

主幹、主任社会教育主事、社会教育主事兼指導主事

義務教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

健康教育課

主幹、主任指導主事、主任栄養技師、指導主事

特別支援教育課

主幹兼副課長、主任指導主事、管理主事、指導主事

高校教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

教育センター

研究・研修部長、主任指導主事、指導主事

特別支援教育センター

企画事業部長、主任指導主事

2 調整事務

(1) 教育庁内企画・調整事務

- ア 総合教育計画に関する連絡調整
- イ 県教委重点施策に関する連絡調整
- ウ 県教委点検・評価に関する連絡調整
- エ 県重点事業に関する連絡調整
- オ 県重点施策評価に関する連絡調整
- カ 政府予算対策に関する連絡調整
- キ 双葉地区教育構想推進事業に関する連絡調整

(2) 知事部局との調整事務

- ア 総務部
行財政改革推進本部、総合教育会議、風評・風化プロジェクトチーム
- イ 危機管理部
安全で安心な県づくり推進庁内連絡会議
- ウ 企画調整部
県総合計画・復興計画関係、施策評価関係、県重点事業関係、政府予算対策活動関係、過疎・中山間地域経営戦略本部会議、エネルギー政策検討会、電子社会推進本部会議、政策調整会議、避難地域復興推進会議、新生ふくしま復興推進本部会議、地産地消推進会議、地域創生・人口減少対策本部会議、原子力損害対策協議会、復興対策推進プロジェクトチーム、湯水対策連絡会議、東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進本部会議、東京2020オリンピック聖火リレーふくしま実行委員会
- エ 生活環境部
ユニバーサルデザイン推進本部会議、青少年健全育成推進本部、環境影響評価庁内連絡会議、循環型社会形成庁内推進会議、景観形成推進庁内連絡会議、特定外来生物対応庁内連絡会議、野生鳥獣被害対策庁内連絡会議、男女共同参画推進本部会議、環境・エネルギー施策推進庁内連絡会議、ふくしま地球温暖化対策推進本部会議、除染・廃棄物対策推進会議
- オ 保健福祉部
子育て支援推進本部会議、高齢社会対策推進本部会議、青少年育成推進本部幹事会議
- カ 商工労働部
企業誘致・立地企業振興対策本部会議、商業まちづくり推進調整会議
- キ 農林水産部
ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動、第69回全国植樹祭庁内連絡会議
- ク 土木部
県内建設業振興に係る庁内連絡会議
- ケ 警察本部
福島県被害者等支援連絡協議会

第4節 広報・広聴

1 教育委員会だより

(1) 編集方針

教育庁の新陣容や教育行政の諸領域の中から広報を要する事項及び教職員に周知させる必要のあるものを掲載し、教育委員会施策の徹底を図る。

(2) 内容

県教育委員会重点施策、県教育委員会所管予算、県教育委員名簿・県教育庁新陣容、県教育庁の組織及び電話番号一覧

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ

イ 部数 4,000部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、県内公立学校、私立団体連合会、各教育関係機関、北海道・東北各県教育委員会等

(5) 発行時期

4月に発行

2 教育年報

(1) 編集方針

平成29年度の県教育行政の成果を記録し、将来に残る公的記録として保存する。

(2) 内容

平成29年度の本県教育行政の実績

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 264ページ

イ 部数 150部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、各教育関係機関

3 福島県の教育

(1) 編集方針

本県教育の実績と教育行政の要点を図式化して掲載し、教育庁への来訪者等に配布し、本県教育に対する理解を図る。

(2) 内容

本県教育の実情及び教育行政の要点

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 8ページ カラー

イ 部数 950部

(4) 配布対象

教育機関への来訪者、市町村教育委員会、県内公立学校、各教育関係機関、各都道府県教育委員会等

4 ふくしま教育ニュース

(1) 編集方針

県教育委員会の教育行政施策、実績等を県民、特に保護者を対象として伝えることにより、本県教育に対する理解を図る。7月・11月の年2回発行した。

(2) 内容

ア 第50号(7月発行)

学びのスタンダード(ふくしまの「授業スタンダード」・「家庭学習スタンダード」)

避難指示解除等に伴う地元での学校再開

福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成

県立高等学校改革基本計画策定 4つの基本方針

ふくしまっ子ごはんコンテスト

朝河貫一博士没後70年記念シンポジウム

中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」募集

中学生・高校生の国際理解・国際交流論文「朝河貫一賞」募集

夜間中学

ふくしま子どもLINE相談

相談窓口の案内

イ 第51号(11月発行)

福島県立ふたば未来学園中学校開校

通学路の緊急合同安全点検

ふくしま学力調査(平成31年4月開始)

算数・数学科コアティーチャー授業研究会

福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成

特別支援学校地域支援センターの取組

新たな県立高等学校入試制度

相談窓口の案内

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ カラー

イ 部数 第50号 245,000部

第51号 235,000部

(4) 配布対象

県内公立学校の全保護者、県外に避難している児童生徒の保護者、私立幼稚園及び小・中・高等学校、市町村教育委員会、各教育関係機関等

5 教育庁各課・所・館の広報誌・紙

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
教育総務課	福島県の教育	本県教育の実情及び教育行政の要点を図式化して表示	1	A 4	8	950	教育機関への来訪者、教育関係機関等
	教育委員会だより	県教育長あいさつ、教育施策及び予算、県教育委員名簿、県教育庁新陣容、組織及び電話番号	1	A 4	4	4,000	県内公立学校、私学団体連合会、教育関係機関等
	教育年報	前年度の県教育行政の実績	1	A 4	264	150	市町村教委、教育関係機関等
	ふくしま教育ニュース	県教育委員会の教育行政施策、実績、事業のお知らせ等	2	A 4	4	第50号 245,000 第51号 235,000	県内公立学校の全保護者・教職員、教育関係機関等
福利課	ふくしま福利だより	教職員の福利・厚生事業の紹介等	4	A 4	20 12	各 20,600	全教職員（6月、9月） （12月、3月）
社会教育課	社会教育	社会教育に関する情報、活動状況の取りまとめ	1	A 4	14	—	Webサイトに掲載
県立高校教育課 高校教育改革室	ふたば未来学園中学校パンフレット	新しく開校するふたば未来学園中学校の教育内容	1	A 4	12	6000	県内小学校及び保護者、教育関係機関
	ふたば未来学園中学校ポスター	ふたば未来学園中学校の開校案内	1	A 2	1	3000	県内小学校及びコンビニ、スーパーマーケット等
教育センター	要 覧	教育センターについての沿革、設置の趣旨、組織、予算、事業内容を掲載	1	A 4	20	160	学校、関係機関
	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や県内教員の教育研究等についての紹介及び教育センターからの案内	2	A 4	8	—	Webサイトに掲載
	研究紀要	研究の成果をとりまとめて刊行し、本県学校教育の向上に資する。	1	A 4	72	1,000	学校、関係機関
	長期研究員個人研究報告書	長期研究員の個人研究の成果をとりまとめた報告書	1	A 4	146	150	関係機関
特別支援教育センター	リーフレット	事業内容・研修講座名等	1	A 5	4	100	来所者 Webサイトに掲載
	所報特別支援教育	センターの取組や国内外の教育動向等	1	A 4	26	200	関係機関
	要 覧	沿革、事業体系、事業概要、施設・設備	1	A 4	16	50	関係機関
	研究紀要	調査研究・教育研究及び長期研究員の個人研究の成果報告	1	A 4	60	120	関係機関 Webサイトに掲載

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
図 書 館	館 報 あ づ ま	図書館業務の広報	1	A 4	6	500	図書館・関係機関
	福島県立図書館要覧	県立図書館の概況	1	A 4	22	—	Webサイトに掲載
美 術 館	美術館ニュース ART INFORMATION	企画展・普及事業等の案内	6	A 4 三折		各 11,000	関係機関、来館者等
	ミュージアム カレンダー	年間事業紹介	1	B 5	33,000		関係機関、来館者等
博 物 館	県立博物館年報	前年度の事業実績	1	A 4	98	400	関係機関
	月行事予定表	月行事予定	6	A 4	1	各 14,000	関係機関
	博物館だより	行事予定、企画展案内、講演要旨等	4	A 4	8	各 4,000	学校、関係機関
	企画展ポスター・リーフレット	企画展3回分・次年度企画展1回分	4	ポスターB2 リーフレットA4		12,500 286,000	学校、関係機関 関係機関、来館者等
	年間催し物案内	主催行事などの紹介	1	220×400 観音折り		45,000	関係機関、来館者等
自 然 の 家	企画事業案内(郡山)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1	—	Webサイトに掲載
	会津自然の家だより(会津)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1	—	Webサイトに掲載
	利用案内(いわき)	施設概要、利用方法等	1	A 4	32	500	関係機関
	しおね(いわき)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	8	2,000	関係機関
	リーフレット(いわき)	施設概要、全体図等	1	A 3	2	1,000	関係機関
白 文 化 財 河 セ ン タ ー 館	年 報	沿革、事業の概要、入館者統計、予算等	1	A 4	34	500	関係機関
	まほろん通信	イベントの内容、体験学習	4	A 4	4	各 4,000	関係機関、利用者等
	研 究 紀 要	学芸員の調査、研究成果の報告	1	A 4	154	500	関係機関

6 記者発表及び資料提供(投げ込み)件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	1	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	5
資料提供	24	17	17	32	14	20	36	32	35	21	31	29	308

7 教育フォーラム

(1) 目的

県民各層との対話を通して、多様化している県民の意向を積極的かつ多角的に把握し、県民と一体となった開かれた教育を推進するために実施した。

今年度は、高校生が地域課題探究活動・社会貢献活動等を行う中で発見した地域の課題に対して、高校生ならではの視点による課題解決に向けた学習体験の発表を通して、本県教育施策への理解促進を図った。

(2) テーマ

「ふくしまの高校生が、日本を元気にする。」

ー平成30年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテストー
(共同開催)

(3) 内容

ア 開催形態

開会式、プレゼンテーション(10グループ)、
審査員から各グループへの質疑、
ミニコンサート(弦楽四重奏)、審査結果発表、
表彰、審査員講評、閉会式

イ 会場

福島大学

共生システム理工学類 後援募金記念棟会議室

ウ 開催日時

平成30年12月9日(日)10:00~15:30

エ 出席者

(ア) プレゼンテーション(順不同)

会津学鳳高校 美術部

会津農林高校 早乙女踊り保存クラブ

岩瀬農業高校 ヒューマンサービス科 農福連携実践班

湖南高校 学術研究部

桜の聖母学院高校 インターアクト部

(ボーイスカウト福島第1団ベンチャー隊)

サンキュー・カンボジア・プロジェクト(個人)

相馬農業高校 油菜ちゃんプロジェクトチーム

平工業高校 生徒会

チーム石高(学校の枠を超えたグループ)

One Teens! 実行委員会(学校の枠を超えたグループ)

(イ) 審査委員長

塩谷 弘康 (福島大学 副学長、アドミッション
センター長、行政政策学類教授)

(ウ) 審査員

小島 稔 (福島県教育庁 高校教育課長)

小田 札子 (ヤフー株式会社 社会貢献事業本部
シニアマネージャー)

小林奈保子 (なみとも 代表)

鈴木 学 (福島大学 総合教育研究センター
特任准教授)

(エ) 進行

福島県立安積高等学校 放送部 3名

(オ) ミニコンサート(弦楽四重奏)

福島県立安積高等学校 弦楽合奏部 4名

(カ) 福島県教育委員会

浅川 なおみ(県教育委員会委員)

岩本 光正(県教育委員会委員)

鈴木 淳一(県教育委員会教育長)

大沼 博文(理事兼教育次長)

熊田 孝(政策監)

岡崎 拓哉(県立高校改革監)

永田 嗣昭(教育庁参事)

高橋 洋平(教育総務課長)

菊池 篤志(庁参事兼社会教育課長)

佐藤 秀美(庁参事兼義務教育課長)

柳沼 英樹(県立高校改革室長)

(キ) 参加者 約180名

8 「ふくしま教育の日」啓発推進事業

県民の教育に対する理解、関心を高め、学校教育、社会教育及び文化の充実、発展を期するため、平成15年3月にふくしま教育の日条例を制定し、ふくしま教育の日(11月1日)及びふくしま教育週間(11月1日~7日)を設けている。当該期間を含むその前後の期間において「教育の日」の趣旨にふさわしい取組が実施されるよう、市町村や関係機関に働きかけた。さらに、福島県教育委員会ウェブサイトに掲載し、広く県民に参加を呼びかけた。

9 「県庁にみんなの声を届けよう！」プロジェクト

子どもたちの県政に対する理解と関心を深めるとともに、将来の復興の主体としての意識を喚起することを目的として実施した。子どもたちが「ふくしまのよりよい未来をつくるために~子どもたちの提言~」をまとめ、知事や教育長等の前で発表する機会を設定することにより、県政に子どもが参画する機会とした。テーマは、『ふくしまの未来』で実施した。

(1) 日時 平成30年8月3日(金) 12:45~16:00

(2) 参加者 小学5・6年生31名、引率者29名

(3) 内容

ア 子ども未来会議(ミニ講話・グループワーク)
グループごとのテーマ(4班編制)

「ふくしまの未来の『学校』・『農業』・『商工業』
・『まちづくり』」

イ 発表・意見交換(知事及び教育委員へ)

第5節 調査統計

平成30年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。

1 学校統計要覧

平成30年5月1日現在で調査した「学校基本調査」(指定統計13号)の調査結果及び県独自に実施している進路状況等に関する調査結果に基づき、学校数、児童生徒数、教職員等の基本的事項や県内の中学生・高校生の進路状況等を収録した「学校統計要覧」を作成し、県教委ホームページで公開した。

2 社会教育調査(基幹統計)

この調査は、社会教育行政に必要な社会教育に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、文部科学省が実施したものである。

3 地方教育費調査(一般統計)

この調査は、平成29会計年度において、学校教育、社会教育、生涯学習関連及び教育行政における県及び市町村(教育事務組合を含む。)から支出された経費並びに授業料等の収入の実態及び地方教育行政機関の組織等の状況を明らかにし、教育諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的として文部科学省が実施したものである。

4 子供の学習費調査(一般統計)

この調査は、子どもを公立または私立の学校に通わせている保護者が、子どもの学校教育及び学校外活動のために支出した経費並びに世帯の年間収入の実態をとらえることを目的として文部科学省が実施したものである。

5 進路状況等に関する調査

この調査は、中学校・高等学校生徒の進路希望及び卒業後の状況を調査し、進路指導及び高等学校の適正配置計画並びに課程・学科等の整備計画の基礎資料を得ることを目的として県単独調査である。

第6節 教職員の給与

平成30年度の教職員の給与改定については、平成30年10月2日の県人事委員会給与勧告に基づき、給料月額及び諸手当について、平成30年12月県議会及び平成31年2月県議会において、給与条例等の一部改正が提案され、議決・公布された。その概要は、次のとおりである。

1 給料関係

(1) 給料月額(平成30年4月1日適用)

全ての給料表において、若年層に重点を置いて給料月額が引き上げられた。

(2) 給料の調整額

ア 調整基本額(平成30年4月1日適用)

給料月額の改定に伴い、一部の調整基本額が改められた。

イ 勤務公署等(平成31年4月1日施行)

高等学校における通級指導の実施及びふたば未来学園中学校の開校に伴い、適用となる勤務公署等が改められた。

(3) 昇格時号給対応表(平成30年4月1日適用)

給料表の改定に伴い、昇格時号給対応表の一部が改められた。

(4) 降格時号給対応表(平成30年4月1日適用)

給料表の改定に伴い、降格時号給対応表の一部が改められた。

(5) 昇格及び降格の基準(平成31年3月25日施行)

特2級に係る昇格及び降格の基準が定められた。

(6) 等級別職務表(平成31年4月1日施行)

特2級に係る等級別基準職務表に掲げる職務と同程度の職務が定められた。

(7) 年令別最低保障給基準(平成31年4月1日適用)

技能労務職給料表の適用を受ける職員の年令別最低保障給基準表等が改められた。

2 諸手当関係

(1) 扶養手当(平成31年4月1日適用)

配偶者及び父母等の手当額が次のとおり改められた。

区分		手当額
配偶者	行政職給料表7級以下相当	6,500円
	行政職給料表8級以上相当	3,500円
子		各10,000円
特定期間にある子の加算額		各5,000円
父母等	行政職給料表7級以下相当	各6,500円
	行政職給料表8級以上相当	各3,500円

(2) 通勤手当(平成31年4月1日適用)

自動車等交通用具使用者の手当額が次のとおり改められた。

片道の自動車等の使用距離	手当額	
	自動車	自動車以外の原動機付きの交通用具
2km以上 4km未満	2,600円	2,000円
4km以上 6km未満	4,000円	2,000円
6km以上 8km未満	5,300円	2,700円
8km以上 10km未満	6,600円	3,300円
10km以上 12km未満	7,900円	4,000円
12km以上 14km未満	9,200円	4,600円
14km以上 16km未満	10,600円	5,300円
16km以上 18km未満	11,900円	6,000円
18km以上 20km未満	13,200円	6,600円
20km以上 22km未満	14,500円	7,300円
22km以上 24km未満	15,900円	8,000円
24km以上 26km未満	17,200円	8,600円
26km以上 28km未満	18,500円	9,300円
28km以上 30km未満	19,800円	9,900円

片道の 自動車等の 使用距離	手当額	
	自動車	自動車以外の原動 機付きの交通用具
30km 以上 32km 未満	21,100 円	10,600 円
32km 以上 34km 未満	22,500 円	11,300 円
34km 以上 36km 未満	23,800 円	11,900 円
36km 以上 38km 未満	25,100 円	12,600 円
38km 以上 40km 未満	26,400 円	13,200 円
40km 以上 45km 未満	29,300 円	14,700 円
45km 以上 50km 未満	31,900 円	16,000 円
50km 以上 55km 未満	34,700 円	17,400 円
55km 以上 60km 未満	37,100 円	18,600 円
60km 以上 65km 未満	39,000 円	19,500 円
65km 以上 70km 未満	42,000 円	21,000 円
70km 以上 75km 未満	45,000 円	22,500 円
75km 以上 80km 未満	48,000 円	24,000 円
80km 以上 85km 未満	50,900 円	25,500 円
85km 以上 90km 未満	53,900 円	27,000 円
90km 以上 95km 未満	56,900 円	28,500 円
95km 以上	59,900 円	30,000 円

(3) 特殊勤務手当

ア 支給対象（平成 31 年 4 月 1 日適用）

ふたば未来学園中学校の開校に伴い、支給対象となる職等が改められた。

イ 支給額

（平成 30 年 4 月 1 日（※1）、平成 31 年 4 月 1 日（※2）適用）

夜間特殊業務手当について、次のとおり改められた。

区 分	手当額
寄宿舎等に宿泊する児童、生徒の指導監督及び寄宿舎等の管理業務	
農作物の栽培又は家畜の飼育に関して行う実習を伴うもの	勤務 1 回 7,400 円（※1）
上記以外のもの	勤務 1 回 6,100 円（※2）

(4) へき地手当等（平成 31 年 4 月 1 日適用）

市町村立学校の統廃合等に伴い、へき地学校等の級別区分が改められた。

第 7 節 附属機関等

1 福島県社会教育委員の会議

根拠法令

社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 15 条並びに福島県社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例（昭和 24 年福島県条例第 56 条）

(5) 宿日直手当（平成 31 年 4 月 1 日適用）

勤務の区分及び支給額が次のとおり改められた。

勤務の区分	手当額	
	宿日直勤務 （5 時間未満 の勤務除く）	5 時間未満の 宿日直勤務
本来の勤務に従事しないで行う庁舎、校舎、設備、備品、書類等の保全、外部との連絡、文書の収受、庁舎又は校舎の監視等を目的とする勤務	5,300 円	2,650 円
高等学校、中学校及び特別支援学校の寄宿舎における児童、生徒の生活指導等のための定時的巡視等を目的とする勤務	6,100 円	3,050 円

(6) 期末・勤勉手当（平成 30 年 12 月 1 日適用）

支給割合が次のとおり改められた。

◎一般職員

	区分	6 月期	12 月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.225 ヶ月	1.325 ヶ月	2.55 ヶ月	計
	勤勉手当	0.90 ヶ月	0.90 ヶ月	1.80 ヶ月	4.35 ヶ月
改正後 (30 年度)	期末手当	1.225 ヶ月	1.325 ヶ月	2.55 ヶ月	計
	勤勉手当	0.90 ヶ月	0.95 ヶ月	1.85 ヶ月	4.40 ヶ月
(31 年度)	期末手当	1.275 ヶ月	1.275 ヶ月	2.55 ヶ月	計
	勤勉手当	0.925 ヶ月	0.925 ヶ月	1.85 ヶ月	4.40 ヶ月

◎特定幹部職員

	区分	6 月期	12 月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.025 ヶ月	1.125 ヶ月	2.15 ヶ月	計
	勤勉手当	1.10 ヶ月	1.10 ヶ月	2.20 ヶ月	4.35 ヶ月
改正後 (30 年度)	期末手当	1.025 ヶ月	1.125 ヶ月	2.15 ヶ月	計
	勤勉手当	1.10 ヶ月	1.15 ヶ月	2.25 ヶ月	4.40 ヶ月
(31 年度)	期末手当	1.075 ヶ月	1.075 ヶ月	2.15 ヶ月	計
	勤勉手当	1.125 ヶ月	1.125 ヶ月	2.25 ヶ月	4.40 ヶ月

目的

社会教育に関する諸計画を立案するとともに教育委員会の諮問に応じ、意見を述べたり必要な研究調査を行ったりし、社会教育に関して教育長を経て教育委員会に助言する。

(1) 福島県社会教育委員

任期 平成 30 年 6 月 20 日～ 令和 2 年 6 月 19 日

区分	氏名	役職名	備考
学校教育関係者	高橋 澄子	小学校長会（新地町立新地小学校長）	
	大和田 康夫	中学校長会（本宮市立本宮第一中学校長）	
	吉津 三千彦	高等学校長会（福島県立福島南高等学校長）	
社会教育関係団体の関係者	黒田 知恵子	福島県公民館連絡協議会会長	
	中島 功	福島県市町村社会教育委員連絡協議会顧問	
	齋藤 裕子	福島県 P T A 連合会母親代表理事	
	石川 美知	福島県婦人団体連合会評議員	
	山岸 敦子	ガールスカウト福島県連盟長	
	齋藤 雄一郎	福島県商工会連合会	副議長
	清水 国明	N P O 法人明日飛子ども自立の里理事長	
家庭教育関係者	星 尚子	福島県家庭教育インストラクター連絡協議会理事	
学識関係者	木暮 照正	福島大学地域創造支援センター教授	議長
	前川 直哉	福島大学総合教育研究センター特任准教授	
	本多 環	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授	
公募	佐藤 房枝	農業	
	大友 靖子	主婦	

(2) 定例会の開催

ア 第 1 回定例会

(ア) 日時 平成 30 年 7 月 17 日（火）

(イ) 場所 杉妻会館 3 階「百合」

(ウ) 内容

a 報告事項

平成 30 年度社会教育に関する主要施策・事業の概要について

b 審議事項

福島県社会教育委員の会議のあり方について
地域と学校の連携のあり方について

イ 第 2 回定例会

(ア) 日時 平成 31 年 2 月 19 日（火）

(イ) 場所 杉妻会館 3 階「鈴蘭」

(ウ) 内容

a 報告事項

平成 30 年度社会教育関係事業報告について
平成 31 年度社会教育関係主要施策・事業（案）について

b 審議事項

地域と学校の連携・協働のあり方について

2 福島県文化財保護審議会

(1) 福島県文化財保護審議会委員

任期 平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日

氏名	所属等	担当分野	備考
阿部 俊夫	元郡山女子大学短期大学部准教授・地方史研究協議会	古文書、歴史資料	
荒木 志伸	山形大学基盤教育院准教授・東北史学会・日本考古学協会	考古資料、史跡、埋蔵文化財	
伊藤 喜良	（福島大学名誉教授）・日本経済大学非常勤講師・歴史学研究会 ・東北史学会・日本史研究会	古文書(中世)・書跡・典籍	会長
懸田 弘訓	会津大学非常勤講師・民俗芸能学会・福島県民俗学会・ 日本民俗音楽学会	有・無形民俗文化財	副会長
狩野 勝重	元日本大学教授・工学博士・日本建築学会・ 伝統建築文化推進協議会・文化財景観保全調査室（個人事務所）	建造物・伝統的建造物群	
佐藤 琴	山形大学学術研究院准教授・美術史学会・国際浮世絵学会	絵画	

氏名	所属等	担当分野	備考
永広 昌之	東北大学総合学術博物館・東北大学名誉教授・日本地質学会・日本古生物学会・地学団体研究会・日本博物科学会	天然記念物（地質鉱物、古生物）	
鈴木 俊行	（公財）福島県都市公園・緑化協会福島空港公園事務所長・樹木医学会・日本造園学会・日本桜学会	天然記念物（植物）	
高橋 あけみ	仙台市博物館主幹・美術史学会・漆工史学会・茶の湯文化学会	工芸品・染織	
竹原 明秀	岩手大学教授・日本生態学会・植生学会・日本植物学会	天然記念物（植生）	
辻 秀人	東北学院大学教授・日本考古学協会・福島県考古学会・全日本博物館学会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	
塘 忠顕	福島大学教授・日本動物学会・日本昆虫学会・日本発生生物学会	天然記念物（動物）	
藤井 英二郎	（千葉大学名誉教授）・日本庭園学会・日本造園学会	史跡・名勝（庭園）	
守谷 早苗	福島市史編纂室（嘱託員）・東北史学会・国史談話会	歴史資料	
若林 繁	元東京家政大学教授・美術史学会	彫刻	

(2) 会議

ア 第1回審議会

- (ア) 期日 平成30年10月15日(木)
- (イ) 場所 福島県本庁舎3階 商労文教委員室
- (ウ) 内容
 - a 福島県指定文化財候補等の審議

イ 第2回審議会

- (ア) 期日 平成31年2月13日(水)
- (イ) 場所 福島県庁西庁舎9階 教育委員室
- (ウ) 内容
 - a 福島県指定文化財候補等の審議
 - b 新たな県指定文化財の候補について

第8節 市町村教育委員会

1 概要

本県の市町村教育委員会数は、平成30年5月1日現在、13市46町村1組合の計60である。

県教育委員会は、市町村教育委員会連絡協議会、都市教育長協議会、町村教育長協議会等との密接な連絡、連携のもとに、教育行政の適正な事務の執行と管理に努めている。

2 組織

平成30年5月1日現在、県内各市町村教育委員会の委員長及び教育長は次のとおりである。

教育委員会名	委員長・職務代理者	教育長
県北(8)		
福島市	佐藤 玲子	本間 稔
伊達郡川俣町	戸田 文士	佐久間裕晴
伊達市	高野 保夫	菅野 善昌
伊達郡桑折町	柴田 宣広	会田 智康
伊達郡国見町	高橋 幸子	岡崎 忠昭
二本松市	佐藤 英之	丹野 学
安達郡大玉村	伊藤 忠和	佐藤 吉郎
本宮市	谷 明子	青田 誠
県中(12)		
郡山市	阿部 亜巳	小野 義明
須賀川市	深谷 敬一	柳沼 直三
岩瀬郡鏡石町	力丸 次雄	高原孝一郎
岩瀬郡天栄村	小針 克彦	久保 直紀

石川郡石川町	有松 良治	田口 和憲
石川郡玉川村	大木 孝行	鈴木 文雄
石川郡平田村	上遠野泰基	吾妻 幹廣
石川郡浅川町	岡田 初明	内田 賢壽
石川郡古殿町	水野 悦男	矢吹 伸一
田村市	増田 英子	飯村 新市
田村郡三春町	武地 優子	高橋 正美
田村郡小野町	大千里義市	西牧 裕司
県南(9)		
白河市	金子 英昭	星 浩次
西白河郡西郷村	勝又千賀子	鈴木 且雪
西白河郡中島村	水野谷剛夫	面川 三雄
西白河郡矢吹町	水戸 勘十	栗林 正樹
西白河郡泉崎村	山田 睦子	杉田久美子
東白川郡棚倉町	松本 一夫	松本 市郎
東白川郡塙町	星 春美	秦 公男
東白川郡矢祭町	益子 敬	古張 金一
東白川郡鮫川村	青戸 義之	奥貫 洋

教育委員会名	委員長・職務代理者	教 育 長
会津(13)		
会津若松市	秋月 淳子	本田 樹
耶麻郡磐梯町	南部あゆみ	田中 靖則
耶麻郡猪苗代町	鈴木 兵市	宇南山忠明
喜多方市	武藤 修吉	大場 健哉
耶麻郡北塩原村	斎藤 弘幸	鈴木 力雄
耶麻郡西会津町	(欠 員)	江添 信城
河沼郡会津坂下町	渡辺 秀一	鈴木 茂雄
河沼郡湯川村	伊藤 幸喜	五十嵐長孝
河沼郡柳津町	鈴木 礼	目黒健一郎
大沼郡会津美里町	小関れい子	新田 銀一
大沼郡三島町	阿部 和彦	坂内 洋二
大沼郡金山町	山口 京子	滝沢 敬樹
大沼郡昭和村	本名 敬	本名 幸平
南会津(5)		
南会津郡南会津町	渡部 謙一	星 英雄
南会津郡下郷町	白石 光史	星 敏恵
南会津郡檜枝岐村	星 賢二	平野 信之
南会津郡只見町	角田 行雄	渡部 早苗
南会津地方広域市町村圏組合	(欠 員)	星 英雄
相双(12)		
相馬郡新地町	高崎 義典	佐々木孝司
相馬市	宗形 明子	堀川 利夫
南相馬市	大石 力彌	大和田博行
相馬郡飯館村	佐藤 眞弘	中井田 榮
双葉郡浪江町	今野 秀則	畠山熙一郎
双葉郡葛尾村	松本 敬一	小野田敏之
双葉郡双葉町	大久保敏己	舘下 明夫
双葉郡大熊町	嶋貫 光喜	武内 敏英
双葉郡富岡町	関本 征司	石井 賢一
双葉郡川内村	秋元 優子	秋元 正
双葉郡檜葉町	宇佐神正道	青木 洋
双葉郡広野町	根本 修行	松本 正人
いわき(1)		
いわき市	馬目 順一	吉田 尚

3 平成30年度市町村教育委員会援助指導の概要

県教育委員会は、市町村教育委員会教育長会議、新任教育委員研修会を開催して助言指導を行うとともに、教育行政関係の諸資料等を配布して県内市町村教育委員会への援助に努めた。

(1) 平成30年度福島県市町村教育委員会教育長会議

ア 主催 福島県教育委員会

イ 期日 平成30年4月10日(火)
ウ 会場 本庁舎5階 正庁
エ 出席者 市町村教育委員会教育長 59名
オ 内容

平成30年度教育庁各課(室)・所の重点施策の説明

(2) 平成30年度福島県市町村教育委員会新任教育委員研修会

ア 主催 福島県市町村教育委員会連絡協議会
福島県教育委員会

イ 期日 平成30年11月19日(月)

ウ 会場 本庁舎5階 正庁

エ 参加者

平成29年11月22日から平成30年9月30日の間に任命された委員及び、それ以前に就任し未参加の委員30名
オ 内容

○講話

・演題 「教育委員に期待するもの」

・講師 福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一

○講話

・演題 「教育委員に求められる構えと職責」

・講師 元福島県市町村教育委員会連絡協議会副会長
藤田 克彦

○講義

・演題 「教育委員会の組織と運営について」

・講師 福島県教育庁職員課管理主事 吉田 圭輔

第9節 職員団体との話合い

平成30年度における「福島県教職員組合」「福島県高等学校教職員組合」「福島県立高等学校教職員組合」「福島県学校事務労働組合」との話合いのうち、主なものは次のとおりである。

1 福島県教職員組合

(1) 平成30年4月26日

ア 再任用職員の待遇改善等について
イ 臨時的任用職員、非常勤職員の待遇改善について
ウ 講師不足について
エ 県独自の学力調査について
オ 家庭学習スタンダードについて
カ 除染廃棄物の搬出について
ケ 休暇制度について
コ 教職員の多忙化解消について

(2) 平成30年11月8日

ア 人事委員会勧告等について
イ 学校事務の共同連携等について
ウ 再任用について
エ 会計年度任用職員制度について
オ 講師不足について
カ 人事異動について
キ 高校生のための栄養教室について
ク 休暇制度について
ケ 教職員の多忙化解消について
コ 県独自の学力調査について

(3) 平成 30 年 11 月 26 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 部活動、特設クラブに関する協議会について
- ウ 再任用について
- エ 休暇制度について
- オ 学校事務職員の研修について
- カ 県民健康調査等に係る負担について
- キ 臨時的任用職員の処遇改善について
- ク ふくしま学力調査について
- ケ 教職員の多忙化解消について

2 福島県高等学校教職員組合

(1) 平成 30 年 4 月 27 日

- ア 県立高等学校改革計画について
- イ 30人学級編制等について
- ウ 特別支援教育の環境整備について
- エ 人事評価制度について
- オ 諸手当について
- カ 実習助手単独の引率等について
- キ 教員採用について
- ク 教職員の多忙化解消について
- ケ 休暇制度について

(2) 平成 30 年 11 月 12 日

- ア 人事委員会勧告について
- イ 高齢層等の給与について
- ウ 諸手当について
- エ 人事評価制度について
- オ 高速道路利用基準について
- カ 教員採用について
- キ 休暇制度について
- ク ハラスメント対策について

(3) 平成 30 年 11 月 27 日

- ア 県立高等学校改革実施計画について
- イ 30人学級編制等について
- ウ 養護教諭、学校司書等の配置について
- オ 特別支援の教室不足解消について
- カ 旅費、需用費の確保について
- キ 通級指導について
- ク 教育環境の充実について
- ケ 教職員の多忙化解消について
- コ 休暇制度について

3 福島県立高等学校教職員組合

(1) 平成 30 年 4 月 27 日

- ア 宿日直手当について
- イ 会計年度任用職員制度の導入等について
- ウ 校舎等の維持・修繕について
- エ 新聞購入費について
- オ エアコン設置について
- カ 特別支援学校の教育の充実について
- キ 教職員の多忙化解消について

(2) 平成 30 年 11 月 12 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ モニタリングポストについて
- ウ ハラスメントへの対応等について
- エ 臨時的任用職員の待遇改善について

(3) 平成 30 年 11 月 27 日

- ア 会計年度任用職員制度の導入等について
- イ 人事評価制度について
- ウ モラルハラスメントについて
- エ 人事公募制度について
- オ 再任用について
- カ モニタリングポストについて
- キ エアコン設置について
- ク 障がい者雇用について
- ケ 臨時的任用職員の待遇等について
- コ 教職員の多忙化解消について

4 福島県学校事務労働組合

(1) 平成 30 年 4 月 26 日

- ア 主任主査の拡大について
- イ 学校事務の共同連携について
- ウ 在職者調整の救済措置について
- エ 公務貢献について
- オ 再任用について
- カ 離任式の実施日について
- キ 人事評価について

(2) 平成 30 年 11 月 8 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 主任主査の拡大について
- ウ 学校事務の共同連携について
- エ 公務貢献について
- オ 職員の配置について
- カ 再任用について
- キ 職員の採用について
- ク 臨時的任用職員の待遇改善について
- ケ 多忙化解消について

(3) 平成 30 年 11 月 26 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 主任主査の拡大について
- ウ 学校事務の共同連携について
- エ 公務貢献について
- オ 職員の配置について
- カ 臨時的任用職員の待遇改善について
- キ 再任用について
- ク 多忙化解消について

第 10 節 不利益処分審査請求事件及び損害賠償等請求事件

1 不利益処分審査請求事件

平成 31 年 3 月 31 日現在、不利益処分審査請求事件として審理中のものは 2 件、平成 30 年度中に終結したものは、1 件及び請求取下げが 1 件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
公文書開示一部開示決定取消請求事件	平 29. 10. 31	平 29. 8. 27 付で請求のあった公文書の一部開示決定処分についてその取消及び変更を請求	当該公文書開示請求人	書面審理中
退職手当支給制限処分取消請求事件	平 29. 12. 19	平 29. 10. 20 付退職手当支給制限処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	書面審理中
懲戒処分取消請求事件	平 30. 1. 17	平 29. 10. 20 付退職手当支給制限処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	終結 平 31. 2. 26 棄却
懲戒処分取消請求事件	平 30. 2. 1	平 29. 12. 15 付懲戒処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	請求取下げ

2 損害賠償等請求事件

平成 31 年 3 月 31 日現在、損害賠償等請求等事件として係属中のものは 3 件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
安全な場所で教育を受ける権利の確認等請求事件	平 26. 8. 29 平 27. 1. 14 平 28. 5. 10	安全な場所で教育を受けることができる権利の確認等	県内住民 多数	係属中
損害賠償請求事件	平 29. 6. 6	義務教育無償とする施策を策定・実施していないという不作為を違法事由として損害賠償を請求	県内住民	係属中
損害金請求事件	平 30. 9. 21	原告に指導改善研修を実施した事は、裁量権を逸脱・濫用しており、原告に精神的損害を与えたとして損害金を請求	公立中学校 教員	係属中

第 11 節 公益法人等の指導等並びに公益信託の状況

1 公益法人等

平成 31 年 3 月 31 日現在、県教育委員会の所管に属する公益法人等は 50 法人である。

各法人から事業報告書・収支決算書、事業計画書、収支予算書等の提出を求めた。

法人ごとの内訳は下表のとおり。

法人種別	所管する法人数	平成 30 年度に公益法人又は一般法人に移行した法人数
公益財団法人	26	1
公益社団法人	2	0
一般財団法人	18	0
一般社団法人	3	0
特例民法法人	1	-
計	50	1

2 公益信託

平成 31 年 3 月 31 日現在、県教育委員会の所管に属する公益信託は 3 件である。

なお、平成 30 年度新たに引き受けを許可した公益信託はない。

第12節 表彰及び叙勲

平成30年度教育・文化関係表彰式は、11月1日(木)とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)、平成31年2月6日(水)杉妻会館において、それぞれ厳粛のうちにも盛大に行われた。

また、文部科学大臣による地方教育行政功労者表彰式は10月12日(金)に文部科学省講堂において、また、教育者表彰式は11月30日(金)、文部科学省講堂において、それぞれ行われた。

1 教育・文化関係表彰

(1) 地方教育行政功労者(5名)

(前)二本松市教育委員会委員長	宮前 貢
(前)鏡石町教育委員会教育長	高原孝一郎
(前)喜多方市教育委員会教育長	芳賀 忠夫
(前)只見町教育委員会教育長	齋藤 修一
広野町教育委員会委員	猪狩 順子

(2) 学校教育功労者(16名)

福島市立福島第三小学校長	小関 明善
伊達郡桑折町立醸芳小学校長	木村 政文
福島市立福島第一中学校長	伊藤 隆幸
郡山市立郡山第三中学校長	荻野 由則
石川郡石川町立石川中学校長	小玉 陽彦
白河市立白河第一小学校長	大杉 和規
東白川郡棚倉町立棚倉中学校長	永山 美雄
南会津郡南会津町立田島中学校長	馬場 俊忠
双葉郡浪江町立浪江小学校長	遠藤 和雄
南相馬市立原町第一中学校長	梅田 善幸
いわき市立平第一小学校長	伊達多津也
福島県立安積高等学校長	渡辺 昇
福島県立会津高等学校長	山内 正之
福島県立原町高等学校長	佐川 尚史
福島県立大笹生支援学校長	片寄 一
福島県教育庁理事兼教育次長	大沼 博文

(3) 社会教育関係

ア 社会教育功労者(3名)

白河市社会教育委員	今野登志子
(前)喜多方市社会教育指導員	高橋 明子
ガールスカウト福島県連盟連盟長	山岸 敦子

イ 功績顕著な団体・施設(3団体・3施設)

〈社会教育団体〉

磐梯町立磐梯第一小学校父母と教師の会
レディースニューライフ
只見町立明和小学校PTA

〈社会教育施設〉

須賀川市岩瀬公民館
会津若松市生涯学習総合センター
猪苗代町図書歴史情報館

(4) 文化財保護関係

ア 文化財保護功労者(1名)

田村市文化財保護審議会委員	若松富士雄
---------------	-------

イ 功績顕著な団体(1団体)

石陽史学会

(5) 学校体育・学校保健関係

ア 学校保健功労者(3名)

福島県立福島高等学校学校歯科医	渡邊 一民
福島市立平野小学校長	重巢 吉美
喜多方市立塩川小学校栄養教諭	長嶺恵美子

イ 功績顕著な施設(1施設)

只見町学校給食センター

(6) へき地教育関係

ア へき地教育功労者(2名)

耶麻郡猪苗代町立翁島小学校長	星 善樹
会津若松市立大戸中学校長	馬場 勇

イ 功績顕著な団体(1団体)

相馬郡飯館村立飯館中学校

(7) 特別支援教育関係

ア 特別支援教育功労者(2名)

(前)福島県特別支援教育振興会会長	柳沼 穹壹
(前)福島県立平支援学校看護師	鈴木志保子

(8) 永年勤続関係

	小学校	中学校	県立学校	教育庁	計
校長	31	13	14		58
教頭	42	19	15		76
教員	324	226	183		733
計	397	258	212	15	882

(9) 特別功績者

ア 児童・生徒(団体)の部(7団体)

- 福島市立野田小学校マーチングバンドクラブ
- 白河市立白河第一小学校特設器楽クラブ
- 郡山市立郡山第五中学校合唱部
- 猪苗代町立猪苗代中学校男子バドミントン部
(富岡町立富岡第一中学校男子バドミントン部)
- 猪苗代町立猪苗代中学校女子バドミントン部
(富岡町立富岡第一中学校女子バドミントン部)
- 郡山高等学校合唱部
- ふたば未来学園高等学校女子バドミントン部

イ 優秀教職員の部(21名)

国見町立国見小学校	教諭	阿部 淳子
郡山市立開成小学校	教諭	齋藤 信夫
郡山市立薫小学校	教諭	高橋久美子
白河市立白河第三小学校	教諭	江花 洋介
西郷村立小田倉小学校	教諭	鈴木恵美子
喜多方市立塩川小学校	教諭	五ノ井達也

いわき市立平第五小学校 教 諭 平子 真紀
 郡山市立郡山第一中学校 教 諭 折笠健二郎
 古殿町立古殿中学校 教 諭 井谷 定雄
 三春町立岩江中学校 教 諭 海老原 篤
 喜多方市立塩川中学校 教 諭 橋谷田 亨
 会津美里町立高田中学校 教 諭 横山 永哉
 南会津町立荒海中学校 教 諭 星 美和
 只見町立只見中学校 主 査 梁取 勝伸
 新地町立尚英中学校 教 諭 田野入秀浩
 檜葉町立檜葉中学校 教 諭 松本 涼一
 いわき市立植田中学校 教 諭 吉田 裕
 福島県立安積黎明高等学校 教 諭 遠藤 喜光
 福島県立会津学鳳高等学校 教 諭 雪下 良治
 福島県立湯本高等学校 教 諭 鈴木美加子
 福島県立大笹生支援学校 教 諭 二階堂俊介

ウ 優秀教職員(団体)の部(1団体)

只見町立朝日小学校

2 文部科学大臣表彰

(1) 地方教育行政功労者表彰(5名)

(前)中島村教育委員会教育長 佐藤 正敏
 飯舘村教育委員会委員 佐藤 眞弘
 矢祭町教育委員会委員 片野 宗和
 (前)伊達市教育委員会教育長 湯田 健一
 (前)会津美里町教育委員会教育長 佐治 和則

(2) 教育者表彰(3名)

福島県立安積高等学校長 渡辺 昇
 南相馬市立原町第一中学校長 梅田 善幸
 桑折町立醸芳小学校長 木村 政文

3 春・秋・高齢者叙勲、死亡叙位・叙勲

(1) 平成30年春の叙勲

ア 瑞宝双光章

神田 紀(教育功労 元福島市立岳陽中学校長)
 遠藤 和夫(教育功労 元いわき市立小名浜第一小学校長)
 藤田 克彦(教育功労 元白河市立白河第二小学校長)
 今野 滋子(教育功労 元福島市立福島第四小学校長)
 日下 幸雄(教育功労 元会津若松市立第二中学校長)
 下山田和順(教育功労 元いわき市立平第三小学校長)
 伊藤 末吉(教育功労 元二本松市立二本松第一中学校長)
 秋山 茂(教育功労 元いわき市立平第三中学校長)

(2) 平成30年秋の叙勲

ア 瑞宝小綬章

三島 信幸(教育功労 元福島県立原町高等学校長)
 佐藤 彦一(教育功労 元福島県立安積黎明高等学校長)
 湊 耕一郎(教育功労 元福島県立橋高等学校長)
 鈴木 弘文(教育功労 元福島県立磐城高等学校長)

イ 瑞宝双光章

富岡 高春(教育功労 元石川町立石川中学校長)
 田崎 敬修(教育功労 元喜多方市立第一小学校長)

室井 君男(教育功労 元福島市立森合小学校長)
 土屋 重憲(教育功労 元猪苗代町立猪苗代中学校長)

(3) 高齢者叙勲(平成30年4月1日～平成31年3月1日発令)

ア 瑞宝小綬章(教育功労)

鈴木 輝男(元福島県立耶麻農業高等学校長)
 横山 元雄(元福島県立双葉農業高等学校長)
 釜野井真一(元福島県立平工業高等学校長)
 五十嵐庸夫(元福島県立白河女子高等学校長)

イ 瑞宝双光章(教育功労)

國分 一夫(元本宮町立本宮小学校長)
 白石 信雄(元矢祭町立内川小学校長)
 堀江富美翁(元棚倉町立高野小学校長)
 鈴木 博(元いわき市立宮小学校長)
 本田雄一郎(元福島市立飯坂小学校長)
 青山 清男(元会津若松市立行仁小学校長)
 角田 利朗(元天栄村立天栄中学校長)
 齋藤 松雄(元福島県立福島明成高等学校学校医)
 坂本 守正(元福島市立笹谷小学校長)
 三瓶 積善(元大越町立大越中学校長)
 秋葉 芳吉(元国見町立藤田小学校長)
 菊地 隆夫(元玉川村立泉中学校長)
 小松 眞(元いわき市立平第五小学校長)
 佐藤 幹夫(元河東町立河東中学校長)
 白石 光雄(元塙町立那倉小学校長)
 白土 信美(元いわき市立泉中学校長)
 夏井 宏治(元三春町立中郷小学校長)
 油坐 三治(元いわき市立湯本第一中学校長)
 蓬田 文雄(元須賀川市立第三中学校長)
 伊藤 集三(元いわき市立高坂小学校長)
 内田 宗壽(元浅川町立浅川小学校長)
 遠藤 四郎(元郡山市立郡山第五中学校長)
 浮内 彰(元小野町立小野新町小学校長)
 大平 喜好(元いわき市立夏井小学校長)
 鈴木 茂(元いわき市立好間第一小学校長)
 鈴木 實(元いわき市立豊間小学校長)
 獨鈷 元夫(元会津若松市立湊中学校長)
 眞壁 正(元会津坂下町立広瀬小学校長)
 松本 昭五(元船引町立移小学校長)
 有賀 究(元平田村立小平小学校長)
 海上 彰(元福島市立平野中学校長)
 北村 光男(元白河市立白河中央中学校長)
 君 佳明(元会津若松市立門田小学校長)
 草野 文弥(元いわき市立勿来第一小学校長)
 小針 信喜(元西郷村立西郷第一中学校長)
 齋藤 豊一(元西会津町立西会津中学校長)
 遠藤 康代(元安達町立上川崎小学校長)
 笠間 富久(元柳津町立柳津小学校長)
 川村 名(元いわき市立植田小学校長)
 田中 宗光(元会津高田町立永井野小学校長)
 村上 武(元福島市立北沢又小学校長)

佐藤 惠 (元福島市立森合小学校長)
 鈴木 宏平 (元いわき市立小名浜東小学校長)
 宮内 壽雄 (元いわき市立小名浜第一中学校長)
 遠藤 忠藏 (元福島市立岳陽中学校長)
 片山 俊雄 (元新鶴村立新鶴小学校長)
 小野 賢男 (元いわき市立湯本第三中学校長)
 佐藤 光之 (元いわき市立磐崎中学校長)
 白岩 清 (元船引町立船引小学校長)
 福本 分吾 (元いわき市立藤原小学校長)

(4) 死亡叙位・叙勲

《平成 30 年度》

ア 従五位・瑞宝小綬章

永井 祥一 (元福島県立福島北高等学校長)
 堀金 敏幸 (元福島県立郡山商業高等学校長)
 佐藤 正 (元福島県立須賀川女子高等学校長)

イ 従五位・瑞宝双光章

宗形 邦夫 (元福島市立清水小学校長)

ウ 従五位

佐藤 禎助 (元福島県立白河高等学校長)
 富永 三郎 (元福島県立小名浜水産高等学校長)
 神野 忠雄 (元郡山市立郡山第一中学校長)
 引地 尚馨 (元月舘町立月舘小学校長)
 齋藤 重保 (元福島県立小高工業高等学校長)
 佐藤 信久 (元福島県立磐城高等学校長)
 寺岡 利雄 (元小高町立小高小学校長)
 柿沼 良訓 (元福島県立磐城女子高等学校長)

エ 正六位・瑞宝双光章

渡邊 時敏 (元郡山市立永盛小学校長)
 野地 松男 (元郡山市立郡山第七中学校長)
 塚本 文雄 (元いわき市立湯本第一中学校長)
 山野邊信子 (元いわき市立玉川中学校長)
 安田 茂 (元福島市立福島第二中学校長)
 志賀 哲 (元新地町立尚英中学校長)
 阿部 武市 (元いわき市立平第五小学校長)
 青木 三郎 (元いわき市立四倉小学校長)
 柳 哲雄 (元白河市立白河第二中学校長)
 渡部 哲夫 (元いわき市立湯本第三中学校長)
 田中 隆 (元郡山市立郡山第一中学校長)
 渡邊 富子

(元国見町梁川町大枝小学校組合立大枝小学校長)

菊地 久男 (元福島市立笹谷小学校長)
 菅田 永 (元郡山市立東芳小学校長)
 渡部健次郎 (元相馬市立桜丘小学校長)
 大竹 道雄 (元須賀川市立大東小学校長)
 立谷 勇祐 (元相馬市立桜丘小学校長)
 和知 重利 (元白河市立五箇中学校長)
 小野 正夫 (元保原町立上保原小学校長)
 高橋 勉 (元郡山市立小山田小学校長)
 三島 好二 (元いわき市立草野中学校長)
 武藤 寛郎 (元二本松市立塩沢小学校長)

新家 義基 (元いわき市立平第二中学校長)
 渡邊 幸典 (元郡山市立橋小学校長)
 佐藤 捷善 (元川俣町立川俣小学校長)

オ 正六位

野村 順 (元福島市立信夫中学校長)
 井戸沼哲夫 (元中島村立滑津小学校長)
 竹内 健 (元二本松市立二本松南小学校長)
 上野 啓次 (元喜多方市立第一小学校長)
 佐藤 晃 (元会津若松市立謹教小学校長)
 若林 五郎 (元本郷町立本郷第一小学校長)
 井関 鉄雄 (元会津若松市立城北小学校長)
 白岩 勇 (元磐梯町立磐梯第一小学校長)
 小泉 勾一 (元郡山市立多田野小学校長)
 佐藤 幹夫 (元河東町立河東中学校長)

カ 従六位・瑞宝双光章

太田 勝弘 (元原町市立原町第二小学校長)
 桑名 莞爾 (元田島町立荒海小学校長)
 溝井 力男 (元西郷村立西郷第二中学校長)
 山内 源二 (元会津若松市立第五中学校長)
 三浦 光孝 (元相馬市立中村第一中学校長)
 山内 卓雄 (元只見町立只見小学校長)

キ 従六位

瀬谷 宏 (元白河市立白河第三小学校長)
 羽田 義光 (元福島市立岳陽中学校長)
 道山 昭次 (元鏡石町立第一小学校長)
 芳賀 北彦 (元いわき市立平第二中学校長)
 宗像 龍雄 (元須賀川市立大東小学校長)
 江川 誠 (元会津坂下町立若宮小学校長)
 菅野八重子 (元新地町立駒ヶ嶺小学校長)
 松本 道夫 (元浪江町立浪江中学校長)

ク 正七位・瑞宝双光章

伊藤 隆生 (元北塩原村立裏磐梯中学校長)

ケ 正七位

齋藤 益三 (元二本松市立二本松第二中学校長)

第 13 節 奨学育英

1 福島県奨学資金

(1) 貸与金額

区 分	貸 与 月 額		
高等学校	国公立	自宅	18,000 円
		自宅外	23,000 円
	私 立	自宅	30,000 円
		自宅外	35,000 円
高等専門学校	18,000 円		
大 学	国公立	35,000 円	
	私 立	40,000 円	
入学一時金 (H25～)	(一括貸与) 500,000 円		

(2) 平成 30 年度の貸与状況

ア 募集期間

(ア) 在学採用

平成 30 年 4 月入学以降～6 月 30 日

(イ) 震災特例採用

平成 30 年 5 月 1 日～7 月 31 日

イ 奨学生決定

(ア) 在学採用

平成 30 年 8 月 10 日 (高等学校)

平成 30 年 8 月 13 日 (大学・高等専門学校)

(イ) 震災特例採用

平成 30 年 9 月 13 日

ウ 貸与状況

区 分	継続貸与	新規貸与		計
		応募者	貸与者	
高等学校 (うち震災特例)	340 人 (178 人)	222 人 (127 人)	214 人 (127 人)	554 人 (305 人)
大 学 高等専門学校	292 人	118 人	91 人	383 人
大学等 入学一時金	—	62 人	48 人	48 人
計	632 人	402 人	353 人	985 人

2 福島県高等学校定時制課程及び通信制課程 修学資金貸与制度

(1) 貸与月額

定時制課程

1～4 学年 14,000 円

通信制課程

1～4 学年 14,000 円

(2) 平成 30 年度の貸与状況

学 年 別	定時制	通信制	計
1 年 生	1 人	0 人	1 人
2 年 生	1 人	0 人	1 人
3 年 生	1 人	0 人	1 人
4 年 生	0 人	0 人	0 人
計	3 人	0 人	3 人